



1 面 目次／外国出身者のための日本文化紹介終了 2 面 取手七福神ウォーキング終了／AED(除細動器)を使った迅速な心肺蘇生講習会終了／ひたち海浜公園バスツアー終了 3 面 藝大との交流会／初級日本語ボランティア養成講座に出席して 4 面 日本語教室NOW「外国語と日本語のお話会」／TIFA活動展のお知らせ／新会員紹介

外国出身者のための日本文化紹介終了

日本には素晴らしい伝統文化が沢山ありますが、外国出身者が個人的にそれらを体験する機会は多くはありません。“是非、体験してほしい”そんな想いで日本文化紹介フェスタを企画しました。4月に井野公民館を訪れ、講座リストを見せて貰った時からがフェスタの始まりです。各講座の講師、クラブの方々のご協力のお陰で実現できました。

11月15日(日) 井野公民館にて、約50名の参加者が着物の着付け、生け花、お茶、習字、折り紙の各コーナーを廻って、日本文化に直に触れました。



着付けコーナーでは、自分にぴったりの着物柄を選んで着付けてもらい、自分たちの可愛さにうっとり！着付けの人気の高さに先生達は休む暇もなく、汗だくでやって下さいました。順番待ち状態が続きました。準備してもらった髪飾りや番傘の小物でお気に入りの写真が撮れたことでしょうか。皆さん本当に素敵でした。

お茶コーナーでは、初めて味わうちょっと苦めの抹茶はどうだったのでしょうか？お茶菓子にかぶりつく人もいました。お茶の作法、心得を先生から教わり、恥ずかしげに手でちぎって食べなおしていました。赤絨毯の上に正座した参加者達は床の間の花、掛け軸、炉、お茶碗に目を見張り、本物のお茶席に感動していました。



生け花コーナーでは、外国のフラワー・アレンジと違い足元をすっきりさせるのが日本の生け方だと。剣山の刺し方、枝は斜めに切る、枝の向き、剪定の仕方、色彩など難しそうでしたが、熱心に教わっていました。出来上がった自分の作品とハイ・ポーズ！家に帰って上手く生けることが出来たでしょうか？

習字コーナーでは、先生顔負けの達筆の方もいらっしゃいました。お手本の文字を書いたり、お気に入りの文字を書いたり、普段左利きの人が初めて右手で“命”の文字を書いたり。パソコンで文章を書く人が増えている時に、筆で書く文字の美しさは良いものですね。



折り紙コーナーでは、小さな子供たちはパンダやピカチュウを、大人はツルの折り方を教わり1枚の紙の妙技に驚いていました。紙を切ったりせずに折るだけで何でも出来る、素晴らしい芸術です。日本人は小さい時からツルだけは自信持って折れますが、最近の若い日本人はツルが折れないと講師から聞いています。伝統は大事にしたいものです。

クラブの方々と話し合いを進めていく上で、言葉の問題を気にされていましたが、当日実際に外国出身者と一緒に講座をやってみて、言葉の壁など無く、むしろ初めての外国出身者との触れ合いを楽しんでおられた様子です。帰り際の参加者の楽しそうな、喜んだ顔が見られて、企画者の私も嬉しい幸せな気分です。

(交流部 佐々木房子)

取手七福神ウォーキング終了

「10月25日、取手駅東口に集合して、大和交通バスに乗り最初の七福神の近くの平石バス停で下車。22人のウォークは始まりました。70代から赤ちゃんまでと幅広い参加者で、早い人とゆっくりと景色・おしゃべりを楽しむ人の差は広がるばかり。利根川の土手に出て、最初にスカイツリーを発見。次いで、萩原さんの案内で牛久大仏が見えました。大きな建造物が見えて、盛り上がり、このままでは時間がオーバーしてしまうかもと心配しながら、予約済みの麒麟ビール取手工場の見学に間に合いました。ここで美味しいビールで盛り上がったのは言うまでもありません。皆元気で12kmを歩きとおし、また来年の再会を約束して解散しました。」



(交流部 池田 勝幸)

AED(除細動器)を使った迅速な心肺蘇生講習終了

最近駅などで目にすることが多くなったAEDを実際に使用していざという時に備える、又、救急車やAEDが来るまでの重要な初期対応として人工呼吸のやり方など約2時間講習を行いました。約20名の外国出身者の参加でしたが、皆さん大変熱心で、その後4人の人が後日終了証のもらえる本講習に参加しました。

心停止など危機的状況に陥らないようにする為には最初の10分から15分が最も大事なようです。皆さん真剣に話を聞き、役割分担をして交代でAEDをケースから出し、自動的に出る音声ガイドに従って操作できました。皆さんAEDを実際に触って作動したことで、大きな自信になったとのことでした。



(交流部 土井照夫)

ひたち海浜公園バスツアー終了

初めてこの季節に国際交流協会TIFAは11月8日にバスツアーを行いました当日は一日中雨でした。参加者は中国12名ウズベキスタン1名ベトナム5名マレーシア1名日本10名ペルー1名ネパール1名インドネシア1名フィリピン6名台湾2名の合計40名でした。バスの中ではそれぞれ自分たちの母国語で挨拶を行いました。参加者にはお菓子と飲み物が配られバスの中で他の国の人たち同士で楽しい交流をすることができました。到着時には全員で記念撮影を撮りました。自由時間で公園内の様々な乗り物を楽しんだり、秋の景色やコキヤの花を楽しんだりそれぞれの時間を楽しむことができました。お昼の時間には自分たちの国々の食事をお互いに交換し合い様々な味覚も楽しめたのも良かったと思います。その後、那珂湊おさかな市場に移動しました。一時間の見学を行い新鮮な魚や珍しい魚を試食したり、お土産を買ったり楽しんだりできました。その後、帰路に着き、午後5時に取手に帰ってきました。



今回のバスツアーは生憎の雨模様でしたが、参加者はそれぞれ様々な笑顔で過ごすことができましたし、帰りには皆さん仲良くなること出来て大変良かったです。(交流部 斉藤リリアナ)

東京芸術大学国際交流会館での 「留学生と地域の方々との交流会」に参加して

閑静な住宅街の一画にある会館は、来日して最初の1年間だけ滞在できる留学生の為の寮で、ここでの生活で日本の第一印象が決まってしまうという大事な場所です。地域の方々とのコミュニケーションは必須で、年1回の交流会には多くの町内会の人たちが出席され暖かい目で見守られていました。11月18日の交流会当日のプログラムは留学生代表の流暢な日本語の挨拶に続き、中国の弦とピアノ演奏、情熱大陸のピアノ連弾、ヘンデル、武満 徹の作品の歌唱、教授によるリストのピアノ演奏があり日本最高峰の演奏を堪能させて頂きました。地域のご婦人の日本舞踊の“黒田節”の披露には皆さん大喝采でした。玄関ホールから外に流れ出る素晴らしい音は、きっとご近所の方々的心をも潤しているのではないかと、少し羨ましく思いました。おでんの“はんぺん”“はどんな字を書くの？どんな味？何から出来ているの？日本語、英語を交えての



説明会話も楽しいものでした。今後ご活躍を楽しみにしています。



(交流部 佐々木 房子)

「初級日本語ボランティア養成講座」に参加して

今年10月24日(土)～来年1月23日(土)合計8回にわたり「初級日本語ボランティア養成講座」が開催されることになりました。日本語教室ボランティアの皆様が日本語を学習者に教えている活動を、私も自ら体験したいと思い参加しました。講師は茨城県日本語教育アドバイザーの布浦万代さんです。布浦さんは外国(ドイツ、アメリカ等)に駐在し日本語を教えた経験があり、現在も筑波大学等で外国人に日本語を教えています。布浦さんは難しい講義の間にベルリンでの生活、万葉集のお話等を交え、楽しく講義をしてくださいました。今までの講義では、「外国人に日本語を教える人の心構え」、「やさしく日本語を教えるコツ」を教えて頂きました。その中でも特に印象に残ったのは次のことです。



*日本には豊かな自然、四季があり、そこで育まれた日本語の奥深い表現方法の豊かさは世界に類を見ないこと。例えば雨音の表現は「しとしと」「ざあざあ」「ぱらぱら」等その状況によってさまざまな表現があります。「このような日本語の特徴、表現方法の豊かさ」を我々が理解し、正しい日本語を使えることが重要であること。

*生徒には最初から日本語だけで教えること。お互いに英語が少し出来るからといって、決して安易に共通の言葉(英語等)を使わないこと。

*生徒にはがまん強く繰り返し、繰り返し反復させることが重要であること。

まだ2回の講義ですが「初めて日本語を学ぶ外国人」に日本語を教えるむずかしさがひしひしと伝わってきました。

(広報部 鈴木忠男)

日本語教室 NOW 外国語と日本語のお話し会

9月27日、ふじしろ図書館主催で「がいこくごと にほんごのおはなし会」が開かれ日本語教室学習者5人が出演しました。良く知られている日本の絵本を外国語で読み聞かせました。

観客は約70名と満席になりました。ベトナム語でフォンさんが「ぐるんぱのようちえん」を、大きな絵本を指しながら、日本語に続き、表情豊かにベトナム語で読み上げました。多くの親子連れが目を輝かせて聞き入っていました。インドネシア語でプルワントさんとリムさんが絵本

「なにのあしあとかな」の「足跡の絵」から、「動物の名前当て」を行い子供達と交流しました。

中国語で清原さんが「ねえねえ」をジェスチャーたっぷり読み聞かせ、「誰が一番好き？」と子供達に問いかけ大喜びでした。ウズベキスタンのフルーザさんがロシア語で、「ロシアのわらべ歌」を歌いました。またウズベキスタンの親子で遊ぶ「手遊び」も紹介しました。最後は、インドネシアじゃんけんので皆で大騒ぎ、楽しい国際交流となりました。



(日本語教室部 原田かよ子)

TIFA活動展のお知らせ

取手市民の皆様には TIFA の活動を紹介するため、取手駅ギャラリーロード・藤代駅橋上ギャラリーで TIFA 活動展を行います。

*取手駅ギャラリーロード

開催期間 2016年1月13日(水)～1月19日(火)

*藤代駅橋上ギャラリー

開催期間 2016年1月20日(水)～1月26日(火)

なお、展示パネル作成日を下記のように2日間設定しましたので、各部パネル作成担当者はおいで下さい。広報部が写真プリントのお手伝いをします。

日時： 2015年12月25日(金) 午前10:00～午後5:00

場所： 取手市福祉交流センター・コミュニティルーム

日時： 2015年12月26日(土) 午後3:00～午後5:00

(午後1:30～3:00 迄定例役員会、その後パネル作成を行います)

場所： 取手市福祉交流センター・コミュニティルーム

新会員紹介(敬称略)

タバ・アニタ・デビ ゴ・ディン・ラップ ズオン・ダック・ニギヤ 周全

小出 えまり 根本佳子 江藤 洋子 赤坂 洋美 北島 啓治

連絡先：取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112 FAX:0297-73-5995

E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ:http://www.tifa-japan.com